
指導計画案 更新版 (2020.5.22)

株式会社 教育芸術社

【本資料5月22日更新版について】

3月26日、国立教育政策研究所のホームページに、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』が公開されました。その内容を踏まえて、以下、2点を変更のうえ、更新版をアップいたします。

1. 「学習指導要領の内容との関連」について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」との関わりが、より明確になるように、各領域・分野の示し方を変更いたしました。当初アップした資料では、軽重を付けずに示していましたが、今回の更新版では、【評価に関わっている】指導事項を太字で示し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を細字で示しました。

2. 評価規準について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」の見直しに伴い、下記の教材については、新たに評価の観点に加わったため、評価の文章が追加されています。

■ 「うみ」

※評価の文章を一部変更し、その部分は青字で示しました。

【本資料について】

- ・本資料は、教育芸術社発行の令和2年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈102～602〉」に基づいて作成されています。（用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。）

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

【2学期制への対応について】

- ・本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

※新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言による休校等の影響に対する資料については、弊社HPの「臨時休校に伴う4月以降の授業対応について【小学校】」の内容もあわせてご覧ください。

題材名	1. うたって おどって なかよくなるろう	扱い時数のめやす 4時間
題材の目標	(1) 歌詞の表す様子, 旋律, リズムや拍と曲想との関わりについて気付き, 声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 互いの歌声や伴奏を聴きながら, 自分の声の出し方について思いをもったり, リズムや拍と曲想との関わりについて考え, 曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 友達と一緒に声を合わせて歌ったり, 体を動かしながら音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図	<p>この題材は, 入学してまもない子供たちが, 音楽に対して興味・関心を持ち, 初めての学校生活に慣れて, 楽しい気分で学習を進めることができるようにするとともに, 新しい友達と出会い, 仲よくなっていくことができるようにすることに重点を置いて設定しています。</p> <p>そのためにここでは, 新しく出会った友達と互いに声をそろえて歌ったり, 音楽に合わせて遊んだり, 体を動かしながら音楽を聴いたりする活動を通して, 友達と一緒に表現する楽しさを感じ取ることができるように学習を進めていきます。</p> <p>挿絵の中から見つけた歌を歌ったり, 歌いながら遊んだり, 音楽に合わせて踊ったりする活動によって, 音楽から遊びへ, 遊びから友達づくりへと幅広く展開して, 子供たちと音楽との出会いを楽しいものにしていきましょう。</p>	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) B鑑賞 ア, イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム, 旋律, 拍	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①歌詞の表す様子, 旋律, リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。 ②互いの歌声や伴奏を聴いて, 声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ③リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。	①リズムや拍と曲想との関わりについて考え, 曲や演奏の楽しさを見だし, 曲全体を味わって聴いている。 ②旋律, リズムや拍を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 歌詞や曲の感じに合った歌い方を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。	①挿絵から見つけた歌や遊びうた, 踊りの音楽に興味・関心を持ち, 友達と一緒に声を合わせて歌ったり, 音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
みんなで いっしょに うた って、ともだちをつくりま しょう。	○うたって なかよし	1	●挿絵の中から想起される歌を、体を動かしながら聴いたり歌ったりす る。	◆歌詞の表す様子、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 表現観察, 演奏観察, 行動観察】 ◆互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 表現観察, 演奏観察, 行動観察】
ともだちと いっしょに お どりましょう。	♪セブン ステップス ♪チェッ チェッ コリ	2	●外国の遊びうたの旋律に親しみ、音楽に合わせて体を動かしながら聴 く。	◆リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。 【知③ 行動観察】 ◆リズムや拍と曲想との関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全 体を味わって聴いている。 【思・判・表① 行動観察】
みんなで あそびながら た のしく うたいましょう。	(共)ひらいた ひらいた	3 4	●音楽に合わせて歌い方や体の動きを工夫しながら、歌ったり遊んだり する。 ●歌詞の情景や気持ちに合った歌い方や体の動かし方の工夫を生かし て、遊びながら歌ったり外国の遊びうたを聴いたりする。	◆旋律、リズムや拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取り ながら、歌詞や曲の感じに合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思 いをもっている。 【思・判・表② 行動観察】 ◆挿絵から見つけた歌や遊びうた、踊りの音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に 声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽 しんで取り組もうとしている。 【態① 演奏聴取, 行動観察】

題材名	2. はくを かんじとろう	扱い時数のめやす 7時間
題材の目標	<p>(1) 音色, リズムや拍などと曲想との関わりについて気付き, 楽器の音色に気を付けて演奏したり歌声や楽器の音を合わせて表現したりする技能や, 即興的にリズムで呼びかけ合う技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音楽に合わせて拍を打ちながら, 曲全体を味わって聴くとともに, リズムの特徴を生かした表現について思いをもったり音楽づくりの発想を得たりする。</p> <p>(3) 拍を感じて体を動かしながら音楽を聴く学習や, 拍やリズムの特徴を感じ取って表現したり即興的にリズムをつなげたりする学習に楽しんで取り組む。</p>	
題材の意図	<p>この題材では, 音楽の様々なリズムを感じ取ったり表現したりするための根幹となる「拍」に焦点を当てた学習を進めます。子供たちになじみ深い映画の歌やじゃんけん遊びをテーマにした歌など, 体を動かす活動を取り入れやすい教材や, 指導者や友達と即興的に名前呼びかけ合ったりリズムリレーしたりする音遊びの教材が配置されています。</p> <p>音楽に合わせて手拍子や足踏み, 行進をしたり, 歌に合わせてリズムを手拍子や打楽器で打ったりする活動, 指導者の打つ拍にのった言葉遊びなどを通して, 楽しみながら拍を感じ取る学習を進めていきます。その際, 伴奏に合わせて歌ったり体を動かしたりするなどの活動を通して, 拍を自然に感じ取ることができるようにするとよいでしょう。</p> <p>また, 基本的なリズムのまとまり (●● ●・) や (●● ●● ●● ●・) を打楽器で演奏する活動を行う際に, リズム唱や手拍子でのリズム打ちも合わせて行うことで, リズム感やフレーズ感を育てていくことができるので, この題材を入り口に, リズム唱やリズム打ちの学習を積み重ねていくようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ (ア)(イ), ウ (ア)(イ)(ウ) (3)音楽づくりア(ア), イ(イ), ウ(ア)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ア 音色, リズム, 拍, フレーズ イ 呼びかけとこたえ 	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。</p> <p>②範唱を聴いたり声を合わせたりして歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③範奏を聴いたり絵譜を見たりして, 歌や伴奏に合わせてカスタネットを演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④たんたん たん(うん)のリズムに合う言葉を選んで, 即興的に表現する技能を身に付けてリズムで呼びかけ合っている。</p> <p>⑤歌詞の表す様子やフレーズと曲想との関わりについて気付き, 自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>⑥音色と演奏の仕方との関わりについて気付き, 音色に気を付けて音を合わせてカスタネットを演奏する技能を身に付けて演奏している。</p>	<p>①リズムや拍を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 音楽に合わせて歌ったり体を動かしたりして, 曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②リズムや拍, 呼びかけとこたえを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 言葉の選び方を工夫し, 音楽づくりの発想を得ている。</p> <p>③音色やリズム, フレーズを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 歌い方や演奏の仕方を工夫し, どのように表現するかについて思いをもっている。</p>	<p>①リズムや拍に興味・関心をもち, 体を動かしながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>②拍にのって言葉をつなげる面白さに興味・関心をもち, 返事をしたり言葉のリズムを生かしたりして, 即興的に表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>③自分の歌声や楽器の音に興味・関心をもち, 声や音を合わせて表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
おんがくに あわせて から だを うごかしましょう。	♪さんぼ	1 2	●曲想を感じ取って聴く。 ●音楽に合わせて体を動かしながら聴く。 ●曲想を味わいながら、楽しく歌ったり聴いたりする。	◆リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 行動観察】 ◆リズムや拍に興味・関心をもち、体を動かしながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 表情観察, 行動観察】 ◆リズムや拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽に合わせて歌ったり体を動かしたりして、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 表情観察, 行動観察】
[たん たん たん (うん)] のリズムを うちましょ。	◇○じゃんけんぼん	(2) 3	●曲想をつかんで歌う。 ●たん たん たん (うん) のリズムを感じ取る。 ●拍にのって たん たん たん (うん) のリズムを演奏する。	◆範唱を聴いたり声を合わせたりして歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取】 ◆範奏を聴いたり絵譜を見たりして、歌や伴奏に合わせてカスタネットを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技③ 演奏聴取】
[たん たん たん (うん)] のリズムで あそびましょ。	☆なまえあそび/フルーツ ランド	4 5	●「なまえあそび」をして、拍にのる感じをつかむ。 ●言葉のリズムを生かして「フルーツ ランド」のリレーを楽しむ。	◆リズムや拍、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、言葉の選び方を工夫し、音楽づくりの発想を得ている。 【思・判・表② 行動観察】 ◆たん たん たん (うん) のリズムに合う言葉を選んで、即興的に表現する技能を身に付けてリズムで呼びかけ合っている。 【技④ 行動観察】 ◆拍にのって言葉をつなげる面白さに興味・関心をもち、返事をしたり言葉のリズムを生かしたりして、即興的に表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 表情観察, 行動観察】
うたに あわせて リズムを うちましょ。	◇○みんなで あそぼう	6 7	●リズムや拍にのって歌う。 ●自分の歌声やフレーズに気を付けて歌う。 ●たん たん たん たん たん たん たん (うん) のリズムを感じ取って演奏する。 ●歌声や楽器の音色に気を付けて、拍にのって表現する。	◆自分の歌声や楽器の音に興味・関心をもち、声や音を合わせて表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態③ 表情観察, 発言内容】 ◆歌詞の表す様子やフレーズと曲想との関わりについて気付き、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技⑤ 演奏聴取】 ◆音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、音色に気を付けて音を合わせてカスタネットを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技⑥ 演奏聴取】 ◆音色やリズム、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌い方や演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 発言内容, 演奏聴取】

題材名	3.はくに のって リズムを うとう	扱い時数のめやす 8時間
題材の目標	(1) リズムの違いや拍などと曲想との関わりについて気付き、楽器の音色に気を付けて演奏したり歌声や楽器の音を合わせて表現したりする技能や、反復や呼びかけとこたえを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムや拍、フレーズと曲想との関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたり、リズムの違いを生かして表現することに思いをもったりする。 (3) リズムを打ちながら音楽を聴く学習や、拍にのってリズムの違いを意識しながら表現したり音楽をつくったりする学習を楽しみ、リズムや拍に興味・関心をもつ。	
題材の意図	この題材では、前題材での学習を基に、リズムの違いやまとまりを感じ取って、拍やリズムに対する感覚を楽しみながら育てていきます。 歌うこと、打楽器を演奏すること、聴くこと、体の動きを使って表現することなど、多彩な活動を通して、リズムの違いを生かした表現に思いをもったり、リズムと拍との関わりから感じる曲の楽しさなどを見いだして聴いたりすることができるようにします。また、3文字と5文字の言葉から生まれるリズムと「呼びかけとこたえ」を用いて、簡単な声遊びをする音楽づくりの学習においては、言葉をリズムに当てはめて唱える面白さや、それを友達とつなげて発表する楽しさを味わうことができます。その際も、拍に合わせて発表するようにし、拍にのることの楽しさを味わえるようにします。 この題材の学習を始めるに当たっては、「拍」と「リズム」は同一のものではないことをあらためて確認しておくといよいでしょう。	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱 ア 、 イ 、 ウ (7)(4)(ウ) (2)器楽 ア 、 イ (7)(4)、 ウ (7)(4)(ウ) (3)音楽づくり ア (7)(4)、 イ (7)(4)、 ウ (7)(4) B鑑賞 ア 、 イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、 リズム 、 拍 、 フレーズ イ 反復、呼びかけとこたえ	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①リズムや拍、フレーズと曲想との関わりについて気付いている。 ②歌詞の表す様子や気持ちと曲想との関わりについて気付き、自分の歌声や発音、楽器の音色に気を付けて表現する技能を身に付けて歌ったりリズムを打ったりしている。 ③リズムの違いと曲想との関わりについて気付き、範唱や範奏を聴いたり絵譜を見たりして表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ④範奏を聴いたり絵譜を見たりして、歌に合わせながら、音色に気を付けてタンブリンを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ⑤二つのリズムに合う言葉を使い、そのつなげ方の特徴に気付き、即興的にリズムをつなげたり反復や呼びかけとこたえを用いて簡単な音楽をつくったりする技能を身に付けてつくっている。	①リズムや拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや面白さを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ②リズムや拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、 声 や音の出し方、リズムの打ち方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 ③楽器の音色、リズムやフレーズの違い、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏の仕方を考え、どのように表現するかについて思いをもっている。 ④二つのリズムの違いを生かし、即興的にリズムの組合せを工夫し、音楽づくりの発想を得ている。 ⑤リズムや拍、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムのつなげ方を工夫し、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。	①リズムや拍に興味・関心を持ち、体を動かしながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②リズムやフレーズの違いに興味・関心を持ち、表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 ③リズムのつなげ方の違いに興味・関心を持ち、リズムの組み合わせ方を工夫したり友達とつなげて音楽をつくったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。

「うみ」の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
歌詞の表す情景や気持ち、旋律や拍と曲想との関わりについて気付き、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。	歌詞の表す情景を想像したり、3拍子やフレーズを聴き取ったり、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌詞の表す情景を想像したり表現を工夫したりして、思いをもって歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。

※「うみ」は、学習内容や季節を考慮し、7月に「心の歌」として歌えるように示しています。

また、前題材の学びを生かして、2拍子と異なる3拍子を感じて学習し、それを題材8や3拍子の教材の学習と関連付けることができます。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の扱 目 安 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
おんがくに あわせて リズムを うちながら ききましょう。	♪しろくまの ジェンカ	1 2	●曲想を感じ取って聴く。 ●たん(うん) たん(うん) たんたん たん(うん)のリズムを感じ取る。 ●音楽のよさに気付いて、楽しんで聴く。	◆リズムや拍に興味・関心をもち、体を動かしながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 表情観察, 行動観察】 ◆リズムや拍, フレーズと曲想との関わりについて気付いている。 【知① 表情観察, 演奏観察】 ◆リズムや拍, フレーズを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲や演奏のよさや面白さを見だし, 曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 発言内容, 行動観察】
かたつむりに よびかける ような きもちで うたいましょう。	(共)かたつむり	3 4	●歌詞の表す様子を思い浮かべて歌ったり, リズムを打ったりする。 ●曲想を生かして, 表現を工夫する。	◆歌詞の表す様子や気持ちと曲想との関わりについて気付き, 自分の歌声や発音, 楽器の音色に気を付けて表現する技能を身に付けて歌ったりリズムを打ったりしている。 【知・技② 発言内容, 演奏観察】 ◆リズムや拍, フレーズを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 声や音の出し方, リズムの打ち方を工夫し, どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表② 行動観察, 演奏聴取】
たん と たたの ちがいに きづいて リズムを うちましょう。	◇○ぶん ぶん ぶん	5 6	●リズムの違いを聴き取り, 曲の面白さを感じ取る。 ●リズムの違いから生まれる曲想を感じ取って表現する。 ●音色に気を付け, リズムの違いを生かして演奏する。 ●拍にのって曲想に合った表現の仕方を工夫する。	◆リズムやフレーズの違いに興味・関心をもち, 表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 表情観察】 ◆リズムの違いと曲想との関わりについて気付き, 範唱や範奏を聴いたり絵譜を見たりして表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知・技③ 演奏聴取】 ◆範奏を聴いたり絵譜を見たりして, 歌に合わせてながら, 音色に気を付けてタンブリンを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技④ 演奏聴取】 ◆楽器の音色, リズムやフレーズの違い, 拍を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 演奏の仕方を考え, どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 行動観察】
たん と たたを つかっ て こ と ば で リズム を つく り ま し ょ う 。	☆ことばで リズム	7 8	●リズムに合う言葉を選んで表現する。 ●リズムの違いを生かして, 即興的に音楽をつくる。 ●リズムの組合せの特徴を生かして音楽をつくる。	◆二つのリズムの違いを生かし, 即興的にリズムの組合せを工夫し, 音楽づくりの発想を得ている。【思・判・表④ 行動観察】 ◆二つのリズムに合う言葉を使い, そのつなげ方の特徴に気付き, 即興的にリズムをつなげたり反復や呼びかけとこたえを用いて簡単な音楽をつくったりする技能を身に付けてつくっている。【知・技⑤ 演奏聴取】 ◆リズムや拍, 反復, 呼びかけとこたえを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, リズムのつなげ方を工夫し, どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。【思・判・表⑤ 行動観察】 ◆リズムのつなげ方の違いに興味・関心をもち, リズムの組み合わせ方を工夫したり友達とつなげて音楽をつくったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態③ 表情観察】

※「うみ」は, 学習内容や季節を考慮し, 7月に「心の歌」として歌えるように示しています。

また, 前題材の学びを生かして, 2拍子と異なる3拍子を感じて学習し, それを題材8や3拍子の教材の学習と関連付けることができます。

うみの ようすを おもいうかべながら うたいましょ う 。	(共)うみ	1	●海の情景を思い浮かべながら, 3拍子の拍のまとまりを感じ取る。 ●歌詞の表す情景を想像しながらのびのびと表現する。	◆歌詞の表す情景を想像したり, 3拍子やフレーズを聴き取ったり, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 表現の仕方を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表 演奏観察, 発言内容】 ◆歌詞の表す情景や気持ち, 旋律や拍と曲想との関わりについて気付き, 自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技 発言内容, 演奏聴取】 ◆歌詞の表す情景を想像したり表現を工夫したりして, 思いをもって歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態 発言内容, 演奏聴取】
-------------------------------	-------	---	---	---

題材名	4. みの まわりの おとに みみを すまそう	扱い時数のめやす 2時間
題材の目標	(1) 身の回りの様々な音の特徴に気付き、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色や呼びかけとこたえを生かし、声の出し方やつなげ方を工夫して、音楽づくりの発想を得る。 (3) 身の回りの音に興味・関心をもち、友達と協力して音を探したり即興的な音遊びをしたりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図		
<p>音は、音楽で使われる「楽音」とそうでない「噪音」に分類することができます。音楽科では、「楽音」を扱うことが一般的ですが、ここでは、子供の生活の中に存在する音そのものに着目します。その中で、気に入った音を発見し、生活の中で音が大切な役割を果たしていたり、気持ちを高揚させたり安らかにしてくれたりすること、反対に、聞きづらかったり耳を塞ぎたくなる音があったりすることなどを感じ取り、音の意味を1年生なりに考え、生活の中にある音や音楽につながるような学習を求めています。</p> <p>本題材は、まず、学校生活に慣れてきた時期に、学校の中で聞こえる音に耳を澄ますことによって、その音がどのような音なのか、声で即興的に表現しながら考え、音の面白さに気付くようにします。そして、どのような音が聞こえてくると、どのような気持ちになるのかを感じ取り、身の回りにあるたくさんの音に対する意識を高め、よりよい音を求めていく態度へつなげていきます。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (3)音楽づくりア(7)、イ(7)(4)、ウ(7) [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色 イ 呼びかけとこたえ		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①学校生活の中で聞こえる様々な音の特徴に気付いている。 ②聞こえた音を表した声のつなげ方の特徴に気付き、呼びかけとこたえを用いて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けてつくっている。	①聞こえた音の音色を聴き取り、その音のよさを感じ取りながら、それらの組合せが生み出す面白さを考え、呼びかけとこたえの仕方を工夫し、音楽づくりの発想を得ている。	①学校生活の中の音から、身の回りの様々な音への興味・関心を広げながら、聞こえる音を聴き取り、声で表現したり友達の表現について感じたことを伝えたりして、音遊びを楽しもうとしている。

題材名	5. どれみと なかよくなるう	扱い時数のめやす 8 時間
題材の目標	<p>(1) 音色や旋律などと曲想との関わりについて気付き、音の高さの違いに気を付けながら、階名で歌ったり鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 鍵盤ハーモニカの響きと曲想との関わりについて考えながら、曲や演奏のよさや面白さを見いだして聴いたり、音の響きや旋律の違いを生かした表現の仕方について思いをもったりする。</p> <p>(3) 鍵盤ハーモニカの音色を生かした演奏を聴くとともに、互いの声や音を聴き合いながら、階名で歌ったり音の特徴を意識して鍵盤ハーモニカを演奏したりする学習に楽しんで取り組む。</p>	
題材の意図	<p>この題材では、これまでに学習してきた拍やリズムなどに対する感覚を土台にして、新たに鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身に付ける学習を進めていきます。</p> <p>導入の段階から、蜜蜂のいろいろな様子を思い浮かべながら鍵盤ハーモニカの音を聴いて、音色のよさや美しさを感じ取ったり、歌に続けて高い音や低い音、強い音や弱い音などを出して、鍵盤ハーモニカでいろいろな音を出す楽しさを味わったりして、音色に対する感覚を養いながら楽器に親しんでいきます。</p> <p>また、鍵盤ハーモニカの学習と並行して、旋律を階名で模唱したり暗唱したりする活動を通して、音の高低を感じ取りながら音程感覚を養う学習も進めます。音程に対する感覚は、正しい音程で歌ったりみんなで声を合わせて合唱したりする音楽活動を行ううえで、とても重要な能力の一つです。ふだんの授業から階名唱の活動を繰り返し行い、子供たちの音程感覚を着実に育てていくようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(ウ) (3)音楽づくりア(ア), イ(ア), ウ(ア)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, 旋律, 強弱 イ 呼びかけとこたえ 	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①鍵盤ハーモニカの音色、旋律や強弱の変化と曲想との関わりについて気付いている。</p> <p>②鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③範唱や範奏を聴いて階名唱したり、絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</p> <p>④曲想と音色や旋律のまとまりとの関わりについて気付き、階名唱したり、絵譜を見て声の出し方に気を付けながら歌ったりする技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>①鍵盤ハーモニカの音色、旋律や強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②鍵盤ハーモニカの音色や音の高低、長短、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音の出し方を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。</p> <p>③音色や音の高低、長短が生み出す違いを生かし、音の出し方を考えて、どのように演奏するかについて思いをもっている。</p> <p>④音色や旋律のまとまりを生かして、歌い方や音の出し方を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもっている。</p>	<p>①鍵盤ハーモニカの音色や旋律と曲想との関わりについて興味・関心をもち、蜜蜂の様子を思い浮かべながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>②音色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。</p>

※「どれみで あいさつ」と「どれみふぁその まねっこ」の技③は、同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
けんぱんハーモニカと な かよく なりましょう。	♪みつばちハニーの ぼうけん	1	●場面や様子を想像しながら、鍵盤ハーモニカの音色のよさに気付いて聴く。	◆鍵盤ハーモニカの音色や旋律と曲想との関わりについて興味・関心をもち、蜜蜂の様子を思い浮かべながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 表情観察, 発言内容】 ◆鍵盤ハーモニカの音色, 旋律や強弱の変化と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 発言内容, 表情観察】 ◆鍵盤ハーモニカの音色, 旋律や強弱を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 曲や演奏の楽しさを見いだし, 曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 行動観察】
けんぱんハーモニカで いろ いろな おとを みつけま しょう。	◇たのしく ふこう	2	●音の高低や長短, 強弱などを工夫して, いろいろな音を吹く。	◆鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりについて気付き, 音色に気を付けて, 鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技② 演奏聴取, 発言内容】 ◆鍵盤ハーモニカの音色や音の高低, 長短, 強弱を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 音の出し方を工夫し, どのように演奏するかについて思いをもっている。 【思・判・表② 行動観察, 演奏聴取】
どと その ばしよを みつけ ましょう。	◇○どんぐりさんの おうち	3	●音の出し方に気を付けて, 鍵盤ハーモニカの演奏の仕方に親しむ。 ●息の強さに気を付けて, 鍵盤ハーモニカを演奏する。	◆音色や音の高低, 長短が生み出す違いを生かし, 音の出し方を考えて, どのように演奏するかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 行動観察, 演奏聴取】
どれみの ばしよを おぼえ ましょう。	◇○どれみで あいさつ	4	●音の高さの違いを感じ取りながら, 鍵盤ハーモニカのド, レ, ミの位置を覚える。	◆範唱や範奏を聴いて階名唱したり, 絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【技③ 行動観察, 演奏聴取】
どれみふあその ばしよを おぼえましょう。	◇○なかよし ◇どれみふあその まねっこ	5 6 7	●音の高さの変化を感じ取って, 旋律を階名唱する。 ●鍵盤ハーモニカのファとソの位置を覚える。 ●歌の組と鍵盤ハーモニカの組に分かれて演奏する。 ●音色に気を付けて「どれみふあその まねっこ」遊びをする。	◆音色や音の特徴, 階名への興味・関心を深め, 音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 演奏観察】 ◆音色や旋律のまとまりを生かして, 歌い方や音の出し方を工夫し, どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもっている。 【思・判・表④ 演奏聴取】 ◆範唱や範奏を聴いて階名唱したり, 絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【技③ 演奏聴取】
おとの たかさに きをつけ ながら うたいましょう。	(共)ひのまる	8	●旋律の特徴を感じ取る。 ●音色や旋律に気を付けながらのびのびとした声で歌う。	◆曲想と音色や旋律のまとまりとの関わりについて気付き, 階名唱したり, 絵譜を見て声の出し方に気を付けながら歌ったりする技能を身に付けて歌っている。 【知・技④ 演奏聴取】

※「どれみで あいさつ」と「どれみふあその まねっこ」の技③は, 同じ観点で見取っています。

題材名	6. せんりつで よびかけあおう	扱い時数のめやす 6 時間
題材の目標	(1) 曲想と音色，旋律や呼びかけとこたえとの関わりについて気付き，歌声や発音に気を付けて歌ったり簡単な旋律をつくったりする技能を身に付ける。 (2) 旋律の呼びかけ合いが生み出すよさや面白さを基に，声の出し方や旋律のつなげ方について思いをもったり，曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 友達どうして旋律の呼びかけ合いを意識して歌ったり旋律をつくったりする学習や，呼びかけ合う旋律に注目して音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図	<p>この題材では，旋律に焦点を当て，歌唱，音楽づくり，鑑賞の活動を通して，旋律で呼びかけ合うよさや面白さを感じ取ったり，旋律のつなげ方に思いをもって簡単な旋律をつくったりすることができるようにします。</p> <p>歌唱教材の「やまびこ ごっこ」では，互いの声を聴き合って同じ旋律を交互に歌いながら，声の出し方や強弱の工夫について思いをもち，それを基にしながらかしや発音に気を付けて歌う力を養います。</p> <p>音楽づくり教材の「せんりつの まねっこ・おはなし」は，鍵盤ハーモニカの復習も兼ねることができます。友達とつくった旋律をまねしたりつなげたりする活動を進める際は，フレーズのつなげ方など音楽づくりの発想を得る学習と，器楽の学習を関連させて，子供たちが無理なく表現の能力を伸ばせるようにしましょう。</p> <p>鑑賞教材の「こうしんきょく」では，旋律の呼びかけ合いに着目し，呼びかけとこたえが生み出す曲のよさや面白さを感じ取りながら，曲全体を見通して聴く力を育てていきましょう。</p>	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱 ア ， イ ， ウ (7)(4)(ウ) (3)音楽づくり ア (7)(4)， イ (7)(4)， ウ (7)(4) B鑑賞 ア ， イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色， 旋律 ，強弱 イ 呼びかけとこたえ	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち，アは音楽を特徴付けている要素，イは音楽の仕組み，核となるものについては，**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①音色や旋律の呼びかけ合いと曲想との関わりについて気付き，歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②音のつなげ方の特徴に気付き，即興的に音を選んで「たんたんたん(うん)」の旋律をつくる技能を身に付けてつくっている。 ③短いフレーズのつなげ方の特徴に気付き，呼びかけとこたえを用いて簡単な旋律をつくる技能を身に付けてつくっている。 ④音色や旋律の呼びかけ合いと曲想との関わりについて気付いている。	①声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，声の出し方を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。 ②旋律の特徴を聴き取り，音のつなげ方が生み出すよさや面白さを感じ取りながら，即興的にドレミファソの中から三つの音を選んで旋律をつくる発想を得ている。 ③旋律の特徴を生かして，呼びかけとこたえの仕方を工夫し，どのように旋律をつなげるかについて思いをもっている。 ④楽器の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲や演奏の楽しさを見だし，曲全体を味わって聴いている。	①旋律の呼びかけ合いに興味・関心をもち，友達どうして声の出し方を工夫して歌ったり，「まねっこあそび」を通して音楽づくりの発想を得たりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②楽器の音色や旋律の呼びかけ合いに興味・関心をもち，音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
たがいの こえを ききなが ら よびかけあって うたい ましょう。	○やまびこ ごっこ ☆まねっこあそび	1 2	●曲想を感じ取って、呼びかけとこたえの表現を楽しむ。 ●互いの声を聴き合って、「まねっこあそび」をして楽しむ。 ●歌い方や声の出し方を工夫して、呼びかけ合いを楽しむ。	◆音色や旋律の呼びかけ合いと曲想との関わりについて気付き、歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技① 演奏聴取, 行動観察】 ◆旋律の呼びかけ合いに興味・関心をもち、友達どうして声の出し方を工夫して歌ったり、「まねっこあそび」を通して音楽づくりの発想を得たりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察】 ◆声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表① 演奏聴取, 発言内容】
せんりつをつなげて あそ びましょう。	☆せんりつの まねっこ・おはなし	3 4	●どれみふぁその中から三つの音を選んで旋律をつくる。 ●「呼びかけとこたえ」でお話するように、つくった旋律を組み合わせる。	◆旋律の特徴を聴き取り、音のつなげ方が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、即興的にドレミファソの中から三つの音を選んで旋律をつくる発想を得ている。 【思・判・表② 演奏聴取, 行動観察】 ◆音のつなげ方の特徴に気付き、即興的に音を選んで「たん たん たん (うん)」の旋律をつくる技能を身に付けてつくっている。 【知・技② 演奏聴取, ワークシート】 ◆旋律の特徴を生かして、呼びかけとこたえの仕方を工夫し、どのように旋律をつなげるかについて思いをもっている。 【思・判・表③ 演奏聴取, ワークシート】 ◆短いフレーズのつなげ方の特徴に気付き、呼びかけとこたえを用いて簡単な旋律をつくる技能を身に付けてつくっている。 【知・技③ 演奏聴取, ワークシート】
せんりつが よびかけあう おもしろさを かんじなが ら ききましょう。	♪こうしんきょく	5 6	●曲全体の曲想を感じ取って聴く。 ●呼びかけ合う旋律を口ずさみながら、楽器の音色を感じ取る。 ●曲や演奏のよさや面白さ、美しさを楽しんで聴く。	◆楽器の音色や旋律の呼びかけ合いに興味・関心をもち、音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 発言内容, 表情観察】 ◆音色や旋律の呼びかけ合いと曲想との関わりについて気付いている。 【知④ 発言内容, 表情観察】 ◆楽器の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表④ 発言内容, 行動観察】

題材名	7. がっきと なかよく なるう	扱い時数のめやす 6 時間
題材の目標	(1) 音色やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、楽器の音色に気を付けて表現する技能を身に付ける。 (2) 歌詞の表す様子、音色やリズムと曲想との関わりについて考え、曲想に合った表現の仕方について思いをもったり、曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 打楽器の音色のよさや面白さを感じ取って、互いの音や演奏の仕方を比べながら表現したり、曲全体を味わって聴いたりする学習に楽しんで取り組む。	
題材の意図	<p>この題材では、身近な打楽器そのものやそれらの音色への興味・関心を育てながら、音色の違いや音の様々な特徴を捉えて表現の仕方を工夫することに重点を置いています。そして、様々な打楽器の音色とそれらの演奏の仕方との関わりに気付き、それを基に表現の工夫を進められるようにします。</p> <p>そこで得た楽器の音色への興味・関心を基にして、様々な音の鳴らし方の中から自分の気に入った音を見つけて歌と合わせて発表したり打楽器の音の魅力を共有したりします。鑑賞の学習では、音色とリズムが生み出す面白さに着目しながら、曲全体を楽しんで聴くことができるようにします。</p> <p>本題材で気付いたり発見したりした音のよさや面白さと、その演奏の仕方との関わりについては、音色を中心とする表現への思いの土台となるものです。楽器演奏の基礎基本を押さえながら、子供たちが思いをもって表現する楽しさも味わえるようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(ウ) B鑑賞 ア, イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, リズム, 拍	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①打楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②音色やリズム、歌詞の表す様子と曲想との関わりについて気付き、声や楽器の音色に気を付けて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ③音色、リズムや旋律と曲想との関わりについて気付いている。	①打楽器の音色や音の強さ、高さ、響きの長さを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音の出し方を工夫し、どのような音にするかについて思いをもっている。 ②打楽器の音色や音の特徴を生かして、リズムや拍との関わりについて考え、音の出し方やリズムを工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 ③打楽器の音色、リズムや旋律と曲想との関わりについて考え、曲や演奏のよさや面白さを見だし、曲全体を味わって聴いている。	①打楽器の音色や音の特徴に興味・関心をもち、互いの音や演奏の仕方を比べながら表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②打楽器の音色やリズムと曲想との関わりについて興味・関心をもち、音楽を味わって聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
いろいろな おとを みつけて ならしましょう。	◇おとさがし	1 2	●様々な鳴らし方を試して、一つの楽器からいろいろな音色を見付ける。 ●トライアングルと同様に、すずやタンブリンで音探しをする。	◆打楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技① 演奏観察, 行動観察】 ◆打楽器の音色や音の強さ, 高さ, 響きの長さを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 音の出し方を工夫し, どのような音にするかについて思いをもっている。 【思・判・表① 演奏聴取, ワークシート】
きに いった おとを みつけて うたと いっしょに ならしましょう。	◇さがして みよう ならして みよう	3 4	●曲全体の感じをつかみ, 旋律を歌う。 ●前時に決めた打楽器でリズムの部分を演奏する。 ●工夫した打楽器のリズムを歌に加えて, グループごとに発表し合う。	◆打楽器の音色や音の特徴に興味・関心をもち, 互いの音や演奏の仕方を比べながら表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 表情観察, 演奏聴取】 ◆打楽器の音色や音の特徴を生かして, リズムや拍との関わりについて考え, 音の出し方やリズムを工夫し, どのように演奏するかについて思いをもっている。 【思・判・表② 演奏聴取, 発言内容】 ◆音色やリズム, 歌詞の表す様子と曲想との関わりについて気付き, 声や楽器の音色に気を付けて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知・技② 行動観察, 表情観察, 演奏聴取】
みみを すまして がっきのおとを ききましょう。	♪シンコペーテッド クロック	5 6	●楽器の音色やリズムに気を付けながら聴き, 曲想を感じ取る。 ●曲想を感じ取り, 曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴く。 ●曲の楽しさや演奏のよさを見だし, 曲全体を味わって聴く。	◆打楽器の音色やリズムと曲想との関わりについて興味・関心をもち, 音楽を味わって聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 発言内容, 行動観察】 ◆音色, リズムや旋律と曲想との関わりについて気付いている。 【知③ 発言内容, 行動観察】 ◆打楽器の音色, リズムや旋律と曲想との関わりについて考え, 曲や演奏のよさや面白さを見だし, 曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③ 行動観察, 発言内容】

題材名	8. ようすを おもいうかべよう	扱い時数のめやす
		8 時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と歌詞の表す様子、旋律、強弱や速度などとの関わりについて気付き、声や音の出し方に気を付けて表現する技能や、音のつなげ方の特徴に気付き、音の重なりや呼びかけとこたえを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 歌詞の表す様子、音色、旋律、強弱や速度と曲想との関わりを生かし、曲想や設定された場面の様子に合った表現の仕方や、音楽のつくり方について思いをもつ。</p> <p>(3) 友達と話し合いながら、曲想に合う表現を工夫したり、呼びかけとこたえの仕方や音の重ね方を工夫して、音楽をつくったりする学習に楽しんで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、歌詞の表す様子や場面の様子を想像したことを基に、思いをもって表情豊かに演奏したり音楽をつくったりすることに焦点を当てた学習を進めていきます。</p> <p>歌詞の表す様子を想像しながら、曲想や語感に合った表現を工夫する力や、前の題材で学んだ打楽器の音色の違いや音の様々な特徴を生かして、友達と協働しながら、星空の様子を表すために音をつなげたり重ねたりして音楽をつくる力を養っていきます。</p> <p>これまで、音楽を表現するうえで基本となる拍やリズム、音色などに対する感覚を中心に育ててきました。ここでは、表現を豊かなものにするために必要な子供たちの感性を育てることに配慮し、歌詞を表情豊かに音読したり、生活体験と関連付けたりしながら、曲想と歌詞の表す様子や音楽を形づくっている要素とを関連付けることができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>(3)音楽づくりア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、速度、旋律、強弱、音の重なり イ 呼びかけとこたえ 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>① 範唱を聴いて階名で模唱する技能を身に付けて歌っている。</p> <p>② 楽器の音色や旋律と曲想との関わりや、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、自分の音に気を付けて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③ 楽器の音色の特徴を生かした音のつなげ方や重ね方の違いに気付き、思いに合った表現をするために必要な、呼びかけとこたえを用いたり音を重ねたりして、星空の様子に合った音楽をつくる技能を身に付けてつくっている。</p> <p>④ 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付き、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>① 歌声や楽器の音色、旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌い方や演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。</p> <p>② 楽器の音の特徴を生かして、即興的に音を出したり選んだりつなげたりして音楽づくりの発想を得ている。</p> <p>③ 楽器の音色や強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音のつなげ方や重ね方を工夫し、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。</p> <p>④ 自分の歌声や友達の歌声、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、強弱や速度を工夫して、どのように歌うかについて思いをもっている。</p>	<p>① 歌詞の表す情景や気持ち、楽器の音色、旋律と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、表現の仕方を工夫する学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>② 楽器の音色の特徴に興味・関心を持ち、友達と一緒に、音をつなげたり重ねたりして音楽をつくる学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>③ 歌詞の表す情景や気持ちと曲想との関わりについて興味・関心を持ち、曲想に合う強弱や速度を工夫して歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
ほしぞらの ようすを おも いうかべながら、うたっ たり えんそうしたり しま しょう。	○◇きらきらぼし	1 2 3	●範唱を聴いて、曲想を感じ取って歌詞や階名で歌う。 ●音色に気を付けて鉄琴や鍵盤ハーモニカで演奏する。 ●互いの音を聴き合いながら、声や音を合わせて演奏する。	◆範唱を聴いて階名で模唱する技能を身に付けて歌っている。 【技① 演奏聴取】 ◆楽器の音色や旋律と曲想との関わりや、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付き、自分の音に気を付けて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技② 演奏聴取】 ◆歌声や楽器の音色、旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌い方や演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表① 演奏聴取】 ◆歌詞の表す情景や気持ち、楽器の音色、旋律と曲想との関わりについて興味・関心を持ち、表現の仕方を工夫する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 演奏観察】
ほしぞらの ようすを あら わす おんがくをつくりま しょう。	☆ほしぞらの おんがく	4 5 6 7	●自分のイメージに合った音を選ぶ。 ●友達と相談しながら、音をつなげたり重ねたりする。 ●グループで「ほしぞらの おんがく」をつくる。 ●「ほしぞらの おんがく」を仕上げて発表する。	◆楽器の音の特徴を生かして、即興的に音を出したり選んだりつなげたりして音楽づくりの発想を得ている。 【思・判・表② 行動観察】 ◆楽器の音色の特徴に興味・関心を持ち、友達と一緒に、音をつなげたり重ねたりして音楽をつくる学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 行動観察】 ◆楽器の音色や強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音のつなげ方や重ね方を工夫し、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。 【思・判・表③ 行動観察、発言内容】 ◆楽器の音色の特徴を生かした音のつなげ方や重ね方の違いに気付き、思いに合った表現をするために必要な、呼びかけとこたえを用いたり音を重ねたりして、星空の様子に合った音楽をつくる技能を身に付けてつくっている。 【知・技③ 行動観察】
かしから ようすを おも うかべて うたいましょ う。	○はる なつ あき ふゆ	(7) 8	●歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌い、表現の仕方を工夫する。 ●友達と協力し合いながら表現の仕方を工夫する。	◆歌詞の表す情景や気持ちと曲想との関わりについて興味・関心を持ち、曲想に合う強弱や速度を工夫して歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態③ 表情観察、行動観察】 ◆自分の歌声や友達の歌声、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、強弱や速度を工夫して、どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表④ 行動観察】 ◆歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付き、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技④ 演奏聴取】

題材名	9. にほんの うたを たのしもう	扱い時数のめやす 4 時間
題材の目標	(1) わらべうたの旋律の特徴に気付き、拍にのって声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音楽に合わせて体を動かしながらわらべうたの旋律の特徴や拍を感じ取って、わらべうたの楽しさを見いだして聴いたり、歌い方や遊び方について思いをもったりする。 (3) わらべうたのよさや面白さを感じ取って友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする学習を楽しみ、生活の中の遊びに生かしたり、ほかのわらべうたにも関心をもったりする。	
題材の意図	<p>わらべうたは、子供の遊びや親子の会話の中などで、生まれ伝わってきたものです。だからこそ、日本人がもっている音感覚に根ざした音楽だともいえます。</p> <p>この題材では、友達と一緒に遊びながら、わらべうたを歌う楽しさを味わう活動を通して、我が国や郷土の音楽のもつ雰囲気や表情などに自然に親しむことをねらっています。</p> <p>絵描きうたや縄跳びうた、手遊びうたを通して、拍や速度など、いろいろな音楽を形づくっている要素の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取っていきます。教科書では、いろいろな種類のわらべうたを取り上げるようにしていますが、地域に応じて取り上げる曲を差し替える、子供たちどうしで教え合う、地域の方に教えていただくなど、学校や児童の実態に合わせて指導するようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱 ア 、 イ 、 ウ (ア)(ウ) B鑑賞 ア 、 イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 速度、 旋律 、 拍	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
①わらべうたの旋律と曲想との関わりについて気付いている。 ②互いの歌声を聴き合い、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	①旋律や速度を聴き取り、拍と旋律との関わりを感じ取りながら、わらべうたの楽しさを見いだして聴いている。 ②わらべうたの旋律や速度、拍と曲想との関わりが生み出すよさや面白さを考えながら、表現を工夫し、歌い方や遊び方について思いをもっている。	①わらべうたに興味・関心を持ち、絵を描いたり体を動かしたりして聴く学習に楽しく取り組もうとしている。 ②わらべうたに親しみ、友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする学習を楽しんで取り組もうとし、生活の中の遊びに生かしたり、ほかのわらべうたにも興味・関心をもったりしようとしている。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 の 目 安 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
わらべうたを きいたり う たったり して あそびまし ょう。	♪さんちゃんが／おおなみ こなみ	1 2	●わらべうたの旋律に親しみ、絵描きうたを楽しむ。 ●拍を感じ取って、縄跳びうたを楽しむ。	◆わらべうたに興味・関心をもち、絵を描いたり体を動かしたりして聴く学習に楽し しく取り組もうとしている。 【態① 行動観察】 ◆わらべうたの旋律と曲想との関わりについて気付いている。 【知① 行動観察, ワークシート】 ◆旋律や速度を聴き取り、拍と旋律との関わりを感じ取りながら、わらべうたの楽 しさを見いだして聴いている。 【思・判・表① 発言内容, 行動観察】
ともだちと いっしょに あ そびながら うたいましょ う。	○おちやらか ほい	3 4	●速度の違いを感じ取って、友達と声を合わせて「おちやらか ほい」 を楽しむ。 ●わらべうたの楽しさを感じ取りながら、いろいろなわらべうたで遊 ぶ。	◆互いの歌声を聴き合い、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取】 ◆わらべうたの旋律や速度、拍と曲想との関わりが生み出すよさや面白さを考えな がら、表現を工夫し、歌い方や遊び方について思いをもっている。 【思・判・表② 発言内容, 行動観察】 ◆わらべうたに親しみ、友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする学習に楽しんで 取り組もうとし、生活の中の遊びに生かしたり、ほかのわらべうたにも興味・関 心をもったりしようとしている。 【態② 行動観察】

題材名	10. みんなで あわせて たのしもう	扱い時数のめやす
		10 時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と歌詞の表す様子、音色、リズム、旋律や音の重なりなどとの関わりについて気付き、声の出し方や楽器の演奏の仕方に気を付けながら、互いに聴き合って表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律、音の重なりや呼びかけとこたえと曲想との関わりを生かし、表現の仕方について思いをもったり、曲や演奏のよさや面白さを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 歌声や楽器の音色に気を付けながら、曲想に合った表現を工夫し、友達と声や音を合わせて表現する学習や、体を動かしながら曲全体を味わって聴く学習を楽しんで取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>1年生の音楽学習のまとめとなる本題材では、友達の歌声や楽器の音を聴きながら、音や気持ちを合わせて演奏する能力を育てることに重点を置いています。</p> <p>子供たちの発達段階に配慮しながら、互いの歌声や楽器の音を聴きながら演奏する力を育てるために、あらためて友達の声に耳を傾ける活動から始め、最終的には、みんなの歌声や楽器の音を合わせることによって、さらに音楽の楽しみの場が広がることに気付いていけるようにします。</p> <p>鑑賞では、1年間のまとめとして、拍に合わせて手拍子をしたり、強弱の変化に合わせて手拍子の打つ強さを変えたりする活動を取り入れつつ、曲や演奏のよさや面白さを感じ取りながら曲全体を味わって聴くことができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ア 音色, リズム, 旋律, 強弱, 音の重なり, 拍 イ 呼びかけとこたえ 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組みです。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①歌詞の表す情景や強弱、呼びかけとこたえと曲想との関わりについて気付いている。</p> <p>②範唱を聴いたり、自分の歌声に気を付けたりしながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③歌詞の表す様子や音色、リズム、音の重なり、拍のまとまりと曲想との関わりについて気付いている。</p> <p>④思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</p> <p>⑤範唱や範奏を聴いて階名で歌ったり、絵譜を見て演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</p> <p>⑥旋律やその反復、強弱、拍と曲想との関わりについて気付いている。</p>	<p>①旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声の出し方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>②音色やリズム、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。</p> <p>③旋律や強弱、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>①自分や友達の歌声に興味・関心をもち、呼びかけ合って歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>②音色やリズム、旋律、音の重なりと曲想との関わりについて興味・関心をもち、拍にのって、声や音を重ねて表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>③友達の楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、合奏する学習に楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>④旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、体を動かしながら音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。</p>

※「とんくるりん ばんくるりん」と「こいぬの マーチ」の知③は、同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
たがいの うたごえを ききあいながら うたいましよう。	○あいあい	1 2	●互いの歌声を聴き合って「あいあい」を楽しむ。 ●自分や友達の歌声，伴奏を聴いて声を合わせて歌う。 ●強弱や歌い方を工夫して聴き合う。	◆歌詞の表す情景や強弱，呼びかけとこたえと曲想との関わりについて気付いている。 【知① 演奏聴取】 ◆範唱を聴いたり，自分の歌声に気を付けたりしながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取】 ◆旋律，強弱，呼びかけとこたえを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，声の出し方を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。 【思・判・表① 演奏聴取】 ◆自分や友達の歌声に興味・関心をもち，呼びかけ合って歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態① 行動観察】
うたごと がっきのおとを あわせて えんそうしましよう。	◇○とんくるりん ばんくるりん	3 4 5	●3拍子のまとまりを感じながら，曲想をつかんで歌う。 ●音色に気を付けて，鍵盤ハーモニカや打楽器を歌に合わせて演奏する。 ●互いの音をよく聴きながら，歌と楽器を合わせて演奏する。	◆歌詞の表す様子や音色，リズム，音の重なり，拍のまとまりと曲想との関わりについて気付いている。 【知③ 演奏聴取】 ◆思いに合った表現をするために必要な，互いの歌声や音を聴いて，声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【技④ 演奏聴取】 ◆音色やリズム，旋律，音の重なりと曲想との関わりについて興味・関心をもち，拍にのって，声や音を重ねて表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態② 演奏聴取，演奏観察】
たがいの がっきのおとを ききあいながら えんそうしましよう。	◇○こいぬの マーチ	6 7 8 9	●歌詞の表す様子を想像しながら，曲想を感じ取って歌う。 ●範唱や範奏を聴いて，階名唱したり絵譜を見て旋律楽器を演奏したりする。 ●歌に合わせてリズム伴奏の仕方を工夫する。 ●互いの音をよく聴きながら，音色や音量のバランスに気を付けて合奏する。	◆歌詞の表す様子や音色，リズム，音の重なり，拍のまとまりと曲想との関わりについて気付いている。 【知③ 演奏聴取】 ◆範唱や範奏を聴いて階名で歌ったり，絵譜を見て演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【技⑤ 演奏聴取】 ◆音色やリズム，旋律，音の重なりを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，演奏の仕方を工夫し，どのように表現するかについて思いをもっている。 【思・判・表② 演奏聴取】 ◆友達の楽器の音を聴きながら，演奏の仕方を工夫し，合奏する学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態③ 演奏聴取，演奏観察】
こうしんきょくの たのしさを かんじとって ききましよう。	♪ラデツキー こうしんきょく	10	●曲想と旋律やその反復との関わりについて気付いて聴く。 ●拍や強弱の変化を感じ取って聴く。 ●旋律や強弱，フレーズに合わせて体の動きを工夫しながら聴く。	◆旋律やその反復，強弱，拍と曲想との関わりについて気付いている。 【知⑥ 発言内容，行動観察】 ◆旋律や強弱，拍を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲や演奏の楽しさを見だし，曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③ 行動観察】 ◆旋律や強弱の違いに興味・関心をもち，体を動かしながら音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。 【態④ 行動観察，発言内容】

※「とんくるりん ばんくるりん」と「こいぬの マーチ」の知③は，同じ観点で見取っています。